

沖縄地方は10月も歴代1位の高温

沖縄地方の平均気温平年差は+2.3℃となり、10月としては統計開始以降で最も高くなりました。また、沖縄周辺海域の海面水温も、解析値のある1982年以降で、10月として最も高くなりました。

10月の沖縄地方の地域平均気温平年差（※1）は+2.3℃で、9月に続き2か月連続で歴代1位の記録を更新し、10月としては統計を開始した1946年以降で最も高くなりました。沖縄県内の25観測地点（アメダス等）でも、22地点で月平均気温の記録を更新しました。

日々の気温でも、2日に宮城島で35.0℃を観測し、沖縄地方としては初めて10月の猛暑日となりました。また、多くの地点で日最高気温や日最低気温の高い方からの10月としての極値を更新しました。

10月の地域平均気温平年差の高い方からの順位

順位	年	地域平均平年差（℃）
1	2025	+2.3
2	2016	+1.9
3	2024	+1.8
4	2017	+1.5
5	1998	+1.0

平年値期間は1991～2020年。統計開始は1946年。

沖縄周辺海域の海面水温は、東シナ海南部で28.7℃（歴代1位）、沖縄の東で29.0℃（歴代1位）、沖縄の南で29.5℃（歴代1位）（いずれも速報値）となり、解析値のある1982年以降、10月としては記録的に高くなりました。

この記録的な高温の主な要因は、上・中旬を中心に暖かい空気に覆われやすかったことや、高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったためです。また、地球温暖化等の影響も寄与した可能性があります。

沖縄周辺海域の海面水温が高かった主な要因は、上・中旬を中心に暖かく湿った空気に覆われやすかったことや、平年より日射量が多く、風が弱かったためと考えられます。

※1 沖縄地方における地域平均平年差とは、平年値（1991～2020年の平均）と比べて、どのくらい高い（低い）のかを、地域全体でみるものです。那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における気象要素の平年差を7地点平均することにより算出しています。

問合せ先：沖縄気象台 地域防災推進課 担当 寺尾
電話：098-917-7922

1. 2025 年 10 月 沖縄県内の気象官署及び特別地域気象観測所における平均気温

7 地点で統計開始以降最も高くなりました。

観測地点	月平均気温 (°C)	平年値 (°C)	平年差 (°C)	統計開始以来の 高い方からの順位 (10 位以内のみ)	10 月としての これまでの最高		統計開始 年
					月平均気温 (°C)	年	
那覇※	<u>28.0</u>	25.5	+2.5	1	27.7	2016	1890
名護※	<u>27.5</u>	25.0	+2.5	1	27.4	2016	1966
久米島※	<u>27.8</u>	25.3	+2.5	1	27.4	2016	1958
南大東島	<u>27.7</u>	25.9	+1.8	2	27.9	2024	1942
宮古島※	<u>27.6</u>	25.5	+2.1	1	27.5	2024	1937
石垣島※	<u>28.1</u>	26.0	+2.1	1	27.9	2016	1897
西表島※	<u>27.4</u>	25.4	+2.0	1	27.1	2016	1954
与那国島※	<u>27.5</u>	25.4	+2.1	1	27.0	2016	1957

・赤字及び下線は 10 月の極値更新を表します。
・※印は沖縄地方における地域平均に用いている 7 地点を示します。

・値は速報値であるため修正されることがあります。
・) の付いた値は準正常値です。
・平年値期間は 1991～2020 年です。

2. 2025 年 10 月 アメダス地点における平均気温

15 地点で統計開始以降最も高くなりました。

地点名	月平均 気温 (°C)	平年値 (°C)	平年差 (°C)	統計開 始年
伊是名	<u>27.7</u>	25.1	+2.6	1977
奥	<u>25.4</u>	23.1	+2.3	1977
北原	<u>27.9</u>	25.5	+2.4	2003
宮城島	<u>27.4</u>	25.1	+2.3	2008
渡嘉敷	<u>25.9</u>	23.5	+2.4	1977
安次嶺	<u>28.1</u>	25.9	+2.2	2003
糸数	<u>26.2</u>	23.6	+2.6	1977
北大東	<u>28.2</u>	26.5	+1.7	2003
旧東	<u>27.8</u>	26.3	+1.5	2003
下地島	<u>27.5</u>	25.8	+1.7	2003
鏡原	<u>27.0</u>	25.2	+1.8	2003
仲筋	<u>27.6</u>	26.0	+1.6	2003
伊原間	<u>27.8</u>	25.6	+2.2	1977
所野	<u>27.5</u>	25.8	+1.7	2003
盛山	<u>27.6</u>	25.6	+2.0	2013
大原	<u>27.3</u>	25.3	+2.0	1978
波照間	<u>27.6</u>	25.7	+1.9	1979

・赤字及び下線は 10 月の極値更新を表します。
・平年値がある地点のみ掲載しています。

・値は速報値であるため修正されることがあります。
・平年値期間は 1991～2020 年です。

3. 沖縄周辺海域で10月の月平均海面水温が高かった年（上位順）

東シナ海南部			沖縄の東			沖縄の南		
年	平均海面 水温 (°C)	平年差 (°C)	年	平均海面 水温 (°C)	平年差 (°C)	年	平均海面 水温 (°C)	平年差 (°C)
2025	28.7	+2.6	2025	29.0	+1.8	2025	29.5	+1.6
2024	27.4	+1.3	2024	28.5	+1.3	2024	29.1	+1.2
2021	27.2	+1.1	1999	28.4	+1.2	2017	29.0	+1.1

・解析値のある1982年以降の順位。2025年の値は速報値であるため修正されることがあります。

・平年値期間は1991～2020年です。

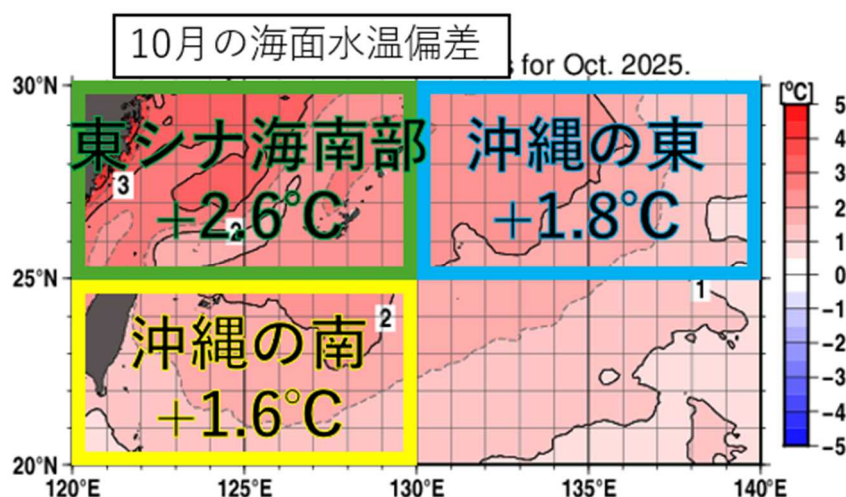


図1 10月の海面水温偏差

暖色系は平年より海面水温の高い領域。寒色系は平年より海面水温の低い領域。図中の緑枠（左上）は「東シナ海南部」、青枠（右上）は「沖縄の東」、黄枠（左下）は「沖縄の南」の海域として海面水温を平均する領域。

4. 気温と海面水温が高くなった要因

上・中旬を中心に黄海～東シナ海付近で偏西風が北に蛇行し、上空から海面付近まで暖かい空気に覆われやすかったことや、高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったため、沖縄地方では10月も記録的な高温となりました（図2）。背景として地球温暖化等の影響により中緯度帯を中心に大気全体の温度が高いことも寄与した可能性があります。

沖縄周辺海域の海面水温は、上・中旬を中心に暖かく湿った空気に覆われやすく、平年より日射量が多かったこと、風が弱かった影響で、東シナ海南部で28.7°C、沖縄の東で29.0°C、沖縄の南で29.5°Cと、解析値のある1982年以降、10月としての歴代最高を記録しました。これには、地球温暖化等による海面水温の上昇傾向も背景にあると考えられます。

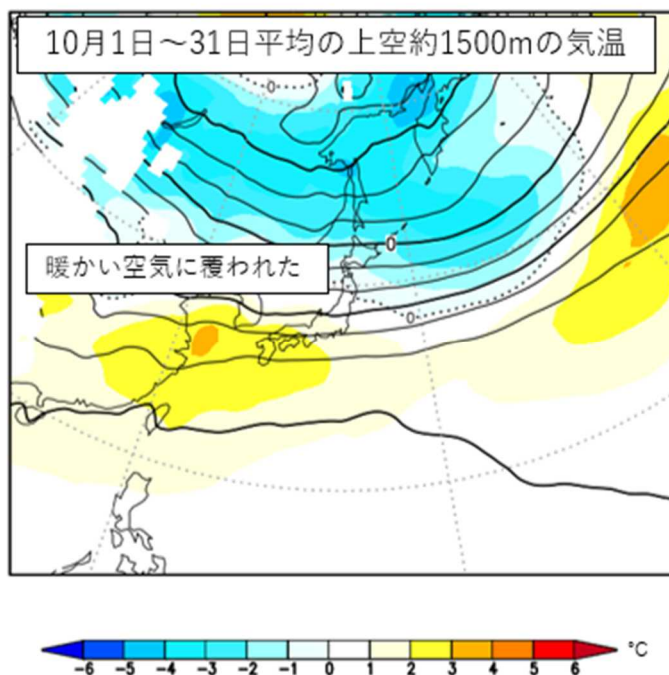


図2 10月1日～31日平均の上空約1500mの気温（実線）と平年偏差（陰影）

暖色系は平年より気温の高い領域。寒色系は平年より気温の低い領域。

月別、旬別の沖縄県の天候についての詳細は、「沖縄地方の天候」や「沖縄県農業気象旬報」をご覧ください。

沖縄地方の天候：<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/tenko/tenko.html>

沖縄県農業気象旬報：<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/nougyo/nougyo.html>

今後の見通しの詳細は、「季節予報」や「沖縄周辺海域の診断表、データ」をご覧ください。

季節予報：

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=011100&term=P1M>

沖縄周辺海域の診断表、データ：

https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/OK/dbindex_OK.html